

第4回公開シンポジウム

コミュニティレジリエンスを 高める社会技術

防災・減災を目指す地域の「参画」と「我がこと意識」

ワークショップ1



逃げ地図

避難場所までの移動可能な経路を可視化する共同作業を通じ、世代間・地域間での連携を考えます。



木下代表

ワークショップ2



LODE

(the Little Old Disabled Evacuation)

中高層の団地でも活用できる災害图上訓練を通じ、災害弱者の視点でコミュニティの助け合いを考えます。



倉原代表

ワークショップ3



減災まちづくり

産業界を巻き込んだワークショップにより、中長期視点でレジリエントな都市圏の創造を考えます。



廣井代表

2017年3月3日 金

12:00~17:10予定

(受付・ポスターセッション開始 12:00~、開会挨拶 13:00~)

体感型シンポジウム

定員200名

[先着順]

入場無料

地域コミュニティが弱体化している現在、いろいろな力を集めなければ、大きな災害を乗り越えることはできません。

今回のシンポジウムでは、「逃げ地図」や「LODE」、「減災まちづくり情報システム」といったツールをテコに、地域住民からビジネスセクターまで多様な主体に対してリスクを認識させ、コミュニティを活性化するための新しい手法と一緒に体験することで、コミュニティレジリエンスの実行力の高め方を考えたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場

東京大学 情報学環・福武ホール
地下2階 ラーニングシアター

お問合せ

e-mail anzen.anshin@jst.go.jp

TEL 03-5214-0132

お申込み

https://form.jst.go.jp/enquetes/ristex_anan

主催：(国研)科学技術振興機構
社会技術研究開発センター
「コミュニティがつなぐ安全・安心な都市・地域の創造」研究開発領域

協賛：新建新聞社 リスク対策.com



コミュニティがつなく
安全・安心な都市・地域の創造

趣旨

平成24年度に発足した「コミュニティがつなく安全・安心な都市・地域の創造」研究開発領域では、今後予想される大規模災害に対し、強くしなやかな社会の実現を目指し、被害の軽減につながる研究開発を進める活動を行っております。来たるべき大規模災害への備えとして、今まさに“新しい防災のパラダイム”を確立する必要があり、そのためには災害からの立ち直り過程も含めた「レジリエンスモデル」の導入が不可欠なのです。

これまでのシンポジウムでは、「レジリエンスモデル」や、その根幹となる「多様な主体の参画」に焦点を当てるとともに、地域密着型コミュニティの可能性と課題等を取り上げ、領域として向かうべき方向性について、みなさまと議論して参りました。

本年度のシンポジウムでは、社会技術の重要な構成要素の1つとなっている合意形成過程でのコミュニケーション技術に焦点を当て、コミュニティレジリエンスの実効性を高める具体的な方策をお示しします。具体的には、公助には限界があることを踏まえ、新しい共助の中でそれぞれが立っているコミュニティを災害に強いものに変えて行くために、ワークショップ手法を中心に取り上げている3つのプロジェクトのデモンストレーションを通じて、参加者の皆様と共体験した上で、各セクターが取るべきプロセスについて議論してまいります。

プログラム
(予定)

-
- 12:00 ■ 受付開始(ポスター・セッションもオープン)
-
- 13:00 ■ 開会挨拶(5分)
岩瀬 公一(国立研究開発法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター長)
-
- 13:05 ■ 来賓挨拶(5分)
文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課長 谷 広太 氏
-
- 13:10 ■ 本シンポジウムが目指すもの『「認識の共有」と「合意形成」』(10分)
林 春男(領域総括／国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長)
-
- 13:20 ■ 「ワークショップで磨く防災力」(20分)
田村 圭子(領域アドバイザー／新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授)
-
- 13:40 ■ 休憩(15分)
-
- 13:55 ■ 3つの事例紹介
司会：平田 直(領域アドバイザー／東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授)
田村 圭子
-
- WS1 「逃げ地図ワークショップ」(40分)
木下 勇(千葉大学大学院園芸学研究科教授)
山本 俊哉(一般社団法人子ども安全まちづくりパートナーズ代表理事／明治大学理工学部 教授)
-
- WS2 「LODE(the Little Old Disabled Evacuation)ワークショップ」(40分)
倉原 宗孝(岩手県立大学総合政策学部教授)、南部 美智代(NPO災害ボランティアネットワーク鈴鹿)
橘 宜孝(みんなが龍馬塾)
-
- WS3 「減災まちづくりワークショップ」(40分)
廣井 悠(東京大学大学院工学系研究科 准教授)、千葉 啓広(名古屋大学減災連携研究センター 研究員)
-
- 15:55 ■ 休憩(15分)
-
- 16:10 ■ ふりかえり(50分)
モデレーター：新建新聞社 リスク対策.com 主筆 中澤幸介 氏
パネル：3プロジェクトの研究代表および領域アドバイザー
PJ：木下 勇、倉原 宗孝、廣井 悠
AD：天野 肇(特定非営利活動法人 ITS Japan 専務理事)
野口 和彦(横浜国立大学 リスク共生社会創造センター長・教授)
奈良 由美子(放送大学 教養学部 教授)
-
- 17:00 ■ まとめ(10分)
林 春男
-
- 17:10 ■ 終了
-

WEB
サイト

<http://ristex.jst.go.jp/cr/>

本研究開発領域で採択した各プロジェクトの概要等

<http://ristex.jst.go.jp/>

他の研究開発領域およびRISTEX全体の取り組み等